

特定非営利活動法人 わおん

平成 29（2017）年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日



こどもたちがもっと元気に輝く地域に

特定非営利活動法人

わおん♪



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX: 0263-87-4024

E-mail : waon@ac.auone-net.jp

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索

♪平成29年度事業の成果・総括

今年度は昨年度に引き続き、ハイジの森で通常の森カフェ以外に、里山子育て子育てセミナー・実践イベントなど様々な事業を実施することができた。常連の参加者が少しずつ増えている。また、今まで森に足を運ばなかった人にも足を運んでもらう事ができた。森カフェコーディネーターも増え、様々な地域で活動が展開されるきっかけをつくることができた。

新規事業として、わおん♪キャンプを6本実施した。松本市や岡谷市にも広報し、多くの参加があった。今後も継続して実施していきたい。

♪事業の実施に関する事項

一 特定非営利活動に係る事業 一

(1) 環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業/2010年度より継続事業)

日程：

2017/4/8 第1回 入隊式 参加者38人 サポーター5人

2017/5/13-14 第2回 春のキャンプ 参加者33人 サポーター7人

2017/6/10 第3回 外あそびの達人になろう① 参加者27人 サポーター7人

2017/7/8 第4回 外あそびの達人になろう② 参加者23人 サポーター6人

2017/8/4-6 第5回 夏のキャンプ 参加者29人 サポーター8人

2017/9/9 第6回 ひみつ基地であそぼう 参加者22人 サポーター7人

2017/11/11-12 第7回 秋のキャンプ 参加者17人 サポーター10人

会場：柏茂会館、上小曽部転作促進研修センター

参加者 小学校3年生～中学校2年生 延べ189人（↓13人）

サポーター 延べ50人（↑3人）

事業費：1,166,190円（子どもゆめ基金365,190円、参加費収入801,000円）

成果：2010年度から活動をはじめ、8年間継続している。継続参加の子どもたちも多く、参加してからより頼もしくなった。継続して参加させたい、高校生になってサポーターになりたいなどの声をいただいている。29年度は、信州大学の学生にサポーターとして関わってもらう機会があった。

課題：サポーター集めに毎回苦労している。

子どもゆめ基金が、28年度87万円に対して、29年度は37万円と大幅な減額があった。今後継続して事業を実施するため、スポンサーを探したり、参加費をあげるなど工夫が必要。平成30年度は参加費をあげて実施予定。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1-2 ハイジの森探検隊

会員からの実施希望の相談があり、企画検討中

1-3 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業 （元気づくり支援金など／2015 年度より本格実施事業）

◆通常森カフェ

2017/4～2018/3 延べ47回（↓7回）開催（天候不順により中止9回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ445人（↑34人）

◆森カフェイベント：参加者延べ96人（↓13人）

2017/5/3 小学生のためのたき火実践講座 参加者：子ども11人、保護者8人

2017/7/9 写真×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 10組20人

2017/7/30 オシャレキャンプワークショップ（会員自主企画事業） 参加者 1人

2017/8/27 ヨーガ×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 2組5人

2017/10/7 コーヒー×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 8組14人

2017/11/5 クッキング×森の癒し

※元気づくり支援金 里山子育ち事業 参加者 4組9人

2016/12/23 わおん♪里山のクリスマス会 参加者29人

※出前外あそび（外あそびネットワーク）

会場：ハイジの森（イベントは、上小曽部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ 参加費：146,500円（↑22,200円）

◆森カフェイベント 参加費：110,700円（↑19,700円）

助成金：元気づくり支援金

成果：本格開催に丸3年となり、参加者数は増えている。今年度は天候不順が多く、昨年度よりも中止なった回数が6回多かったが、それでも全体の参加者は増加した。森カフェコーディネーターの方に開催をお任せすることでもできるようになったので、今後、開催回数を増やすことも可能になってきた。

課題：夜間のイベントや、キャンプも開催できるようにフィールドの整備を進めていく。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



1- 4 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

●わおん♪キャンプの実施

2017/7/22-23 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校 1～6 年生 20 人 保護者 1 人

2017/7/29-30 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 小学校 1～6 年生 20 人

2017/9/16-17 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校 1～6 年生 18 人 保護者 1 人

2017/9/23-24 わおん♪ひみつ基地探検隊

参加者 小学校 1～6 年生 21 人 保護者 1 人

2017/10/14-15、2017/10/21-22 わおん♪もくもくキャンプ

参加者 小学校 1～6 年生 10 人

2017/10/21-22 わおん♪もくもくキャンプ

参加者 小学校 1～6 年生 6 人 保護者 1 人

会場：柏茂会館、上小曽部転作促進研修センター

事業費：参加費 1,444,500円

サポーター：34 人

成果：今年度、新規事業として実施した。松本市、塩尻市、岡谷市の後援をとり、学校にチラシを配布した。ツリーハウスキャンプとひみつ基地探検隊については、申し込み開始すぐに定員を超える応募があった。今後の継続事業としたい。

課題：スタッフの確保が必要になる。大学生などにも声をかけ、充実させたい。



1-5 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会 (2011 年度より継続事業)

2017/5/20-21 体験学習フェスティバル、オプション企画 35 名

2017/6/11、9/10、10/29、11/26 こども未来塾リーダー研修の運営

2017/4～2018/3 塩嶺体験学習の家のブログの更新

2017/11/30 協力団体の交流会

会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011 年度より継続して事業が実施できている。体験学習フェスティバルは定着してきた。多くの参加者に来てもらう事が出来ている。

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



課題：2016 年度からは予算が大きく減り、ニュースの発行と指導者養成講座を削り事業規模が縮小。



1-6 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター交流支援課 (2016 年度より実施)

2017/12/9・10 こどもしおじり開催

2017/4～2017/12 実行委員会開催

参加者 小学3年生から中学生 138人

専門家：9日：25社53名、10日：24社56名

当日スタッフ：9日：40名、10日45名

コアスタッフ：12名

成果：定員の100名を大幅に超える申し込みがあり、抽選で138名を受け入れた。専門家、コアスタッフ、当日スタッフなど、多くの協力者を得ることが出来、様々な主体との協働事業として成功することが出来た

課題：定員を増やせるよう、会場と予算の調整が必要。予算的には厳しいので、効率よく実施しながら、成果を上げていきたい



1-7 出前イベント／受託

2017/6/5 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/6/17、7/15-16、12/16 ジュニアリーダー養成講座

2017/6/25 城北地区育成会 内容：自然体感プログラム

2017/7/2 塩尻子ども劇場 ネイチャーゲーム

※出前外あそび（外あそびネットワーク）

2017/8/21・22 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/9/19 宗賀児童館 内容：自然体感プログラム

2017/10/3 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

2017/10/3 松塩筑小学校教育課程研究協議会【生活科】

2017/10/19 広丘野村保育園 あそびの広場 内容：自然体感プログラム

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2017/11/9 島内小学校 内容：自然体感プログラム

2018/3/16 宗賀児童館 内容：外あそびの達人講座（焚き火）

2018/3/27 蟻ヶ崎児童館

内容：外あそびの達人講座（ロープワーク、たき火）で基地遊び

事業費：受託金額 242,900円（↑57,900円）

成果：平成28年度から、児童館の出前イベントについて塩尻市が予算を組んだが、今年度の依頼は少なかった。また、蟻ヶ崎児童館からは、継続して依頼をいただけている。子ども会育成会のジュニアリーダー養成講座について、こども課から依頼があった。

課題：塩尻市の児童館の出前イベントについては、継続していくこととなった。きちんと成果を市に伝えていく必要がある。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やせるよう、積極的に営業活動をし、増やしていく必要がある。2018年度は子育て支援センター、保育園関係に営業を掛けられなかったもので、2019年度は声をかけていきたい。



(2) 体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業（2010年度より継続事業）

日程：2018/2/11 10時～15時

会場：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階

参加者約300名 出展団体 15団体

子どもサポーター 7人 こども会議 2回実施

事業費：74,250円（↓6,545円）

（出展料29,000円、グッズ売り上げ9,500円、体験売り上げ35,750円）

成果：子どもたちがーから企画を考える子ども会議を2014年度から継続して実施することができた。メンバーは入れ替わってきているが、今年度は7名が関わってくれた。2月のイベントとして定着してきた。参加団体からは継続した実施を希望する声が多くあがった

課題：わおんとしての収益が伸び悩んでいる。売り上げを増やすとともに、経費や手間が減らせるよう工夫したい。

えんぱーくの交流事業に応募したが、共催事業にできずに採択されず。交流支援課や図書館、子育て支援センターとのコラボイベントにすれば、共催となり会場代がかからずに実施できる可能性がある。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2-2 各種交流会（げんすけ Bar、lunch、お茶会）

実施しなかった

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

2017/4/16 さくらフェスタ

2017/4/29・30 チロルの森クラフト市

2017/5/21 体験学習フェスティバル

2017/6/15 松本信用金庫 ※受託

2017/9/2 森のフェスティバル ※出前外あそび（外あそびネットワーク）

2017/9/3 ひらいで遺跡まつり

2017/10/7・8 長野プロパンガス ※受託

2017/10/28 ハッピーハロウィン

2017/11/18・19 木育フェスティバル&まちづくり交流会

2018/2/17 こども食堂 ※受託

売り上げ：172,900円（体験168,650円、グッズ4,250円）（↑34,095円）

内容：受託 3件（↑1件）、自主的に参加 7件（↓3件）

成果：いろいろなイベントに出向くことで、わおんやわおんの活動をPRすることができた。出展件数は減ったが、売り上げは上がった。単価の高い体験を中心に実施した成果が出た。チロルの森は売り上げがほとんどないので、今後は参加しない。

課題：収益的に厳しい面がある。内容によってはサポーターが大勢必要となり、サポーター集めに苦労している。



2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

2017/6/18、11/4 森カフェ in 松川

2017/8/19、9/18 国営アルプスあづみの公園

成果：国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回、松川町で2回、実施することができた。

課題：出張森カフェに関する問い合わせは増えてきているが、まだ実現に結びついていないものがいくつかあるので、出張森カフェを依頼する側の課題を探り、依頼しやすい体制を検討していく必要がある。



こどもたちがもっと元気に輝く地域に



2-5 里山子育て・子育てセミナー・フォーラムの開催/主催事業

2017/6/25 「森が支える子どもの成長～ファミリーキャンプのススメ」

講師：鈴木道郎氏（信州伊那谷キャンパーズヴィレッジ）

参加者 10人

2018/3/11 子育て・子育て支援フォーラム

「子どもの成長と自然とのかかわり方」

コーディネーター：中澤朋代氏（松本大学総合経営学部

観光ホスピタリティ学科准教授）

パネラー：原 薫さん（株式会社柳沢林業 代表取締役）

末次克洋さん（CMLE認定ブッシュクラフトインストラクター）

竹内延彦さん（長野県県民文化部次世代サポート課）

河西香保里さん（松本市在住の2児の母）

参加者 18人

会場：塩尻市市民交流センター

成果：参加者からはセミナー、フォーラムともに好評だった。特にセミナーについては、その後、実際にキャンプに出かけましたという声を聞くことができたほか、森カフェへの参加にもつながった。フォーラムについても、パネルディスカッション終了後に参加自由の交流タイムを企画したところ、ほとんどの方が残り、情報交換を続けていた。

課題：フォーラムについては、今回の参加者層であれば、フィールドの近くでの開催でも良かったのではないかと感じたので、検討が必要。



2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

2017/9/2 森のフェスティバル、2017/12/23 里山のクリスマス会

→出前外あそびとして実施

2018/1/9 外あそびネットワーク新年会、本部会議に参加

2018/2/20 外あそびミーティングに参加

地域フォーラムの事前会議に参加（2回）

外あそびネットワーク事務局として会計を担当

◆木育フェスティバル実行委員会

2017/9/2 森のフェスティバル

2017/11/18・19 木育フェスティバル

実施に向けて、実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

今年度から、やまびこネットワークとは別に会員となる

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆中信地区環境教育ネットワーク

2018/2/20 報告会に参加

◆NPO 法人自然体験活動推進協議会

2018/2/21-22 リスクマネジメントディレクター講習

◆ハッピーハロウィン実行委員会

2017/10/28 ハロウィン

実施に向けて、事前会議に参加

(3) 体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業 (2015年度より実施)

2017/9/4 養成講座の開催

会場：上小曽部転作促進研修センターおよびハイジの森

参加者：4名

成果：長野県内・県外の広い範囲に広報した。そのため、麻績村より参加があった。麻績村で実施してくれたため、新聞に大きく取り上げてもらえた。

また、県外より2名の参加があった。平日開催だからこそ参加してくれた人がいた。

課題：当日キャンセルが2名あった。キャンセル料を検討したほうが良い。参加してくれた人が、森カフェを実施していくためのフォローをきちんとしていく必要がある。また、暖かい季節にも開催し、年2回程度開催したい。継続して実施していくことで、出張森カフェや森カフェの広がりを期待したい。



3-2 サポーター向け勉強会

未実施

(4) 地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2017/4～2018/3 登録 51 人 (↑ 20 人)

HTML 形式のメールマガジンに完全移行した。

メールマガジンの開封率は 47～54%程度なので、開封率を高める工夫が必要。

4-2 活動の動画配信

依頼なし

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

(5) 地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ/FR

◆塩尻市内の店舗での販売

→ (モナミ美容室、温 (ぬっく)、木曽地場産センター)

◆イベントでの販売

2017/4/16 さくらフェスタ

2017/9/3 ひらいで遺跡まつり

2017/11/18・19 木育フェスティバル&まちづくり交流会

2018/2/11 げんすけ祭り

売り上げ：店舗：18,110円 (↑1,955円) イベント 13,750円 (↑2,415円)

5-2 こどもたちの元気の源「^{げんげん}元源ブランド」づくり/FR

未実施

(6) 地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント (ワークショップ)

依頼がなかったため、未実施

— NPO法人の運営 —

(1) 理事、事務局の対外的な活動

◆講師

2017/7/15 林業センター 虫の観察講師 (理事長 山田 勇)

2018/2/17、24 高出地区子ども会育成会 (理事長 山田 勇)

2018/2/27 あさひ環境のつどい (理事長 山田 勇)

2018/3/4 しおじりボランティアのつどい (理事長 山田 勇)

◆委員会・会議出席

塩尻市中央公民館運営審議会 (理事長 山田 勇)

◆その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載 (理事長 山田 勇)

(2) 法人内での活動

・会議

◆総会

2017/4/28 通常総会

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆理事会

2017/4/2

2017/10/10

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

各新聞、月刊イクジィ、Kids Komachi、別冊 KURA 信州塩尻等に掲載

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売のみ実施。

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた

・管理（顧客・備品）

セールスフォースを整備する予定だったが、実施できず

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入している（2015年12月～）

拠点となる事務所を検討する

（もしくはクラウドサービスを活用して、情報共有しながら仕事をする）

※書類データ：Dropbox 写真データ：box 遠隔会議：appear.in →実施

日々の情報共有：Facebook グループ →実施

顧客情報等：セールスフォース → 試行

タスク管理：Evernote →実施

労災、雇用保険は入れない

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

